

目的 一般社団法人岐阜県建設業協会が定めた「OBサポーター」が、年間を通じ効果的な活動を行うために、県内工業系高校教員との意見交換会を開催する。



効果 建設企業で働く若手技術者等の様々な意見を聞き、その意見を教員の方々がそれぞれの学校に持ち帰り、先輩達が頑張っている姿を生徒に伝えていただくことにより、一人でも多くの生徒が建設業界に興味を持っていただくとともに、この業界に入職していただく一助となることを期待するものである。

- 1 日時 令和4年12月1日(木) 10:30~12:00
- 2 場所 サンレイラ岐阜 3F 大ホール
(岐阜市藪田東1-2-3)
- 3 対象者 OBサポーター(一般社団法人岐阜県建設業協会会員企業に所属する若手技術者)
県内工業系高校教員、
一般社団法人岐阜県建設業協会労働委員
- 4 参加者 42名
- 5 意見交換テーマ 「建設産業における若年者の確保・育成・定着のために」
- 6 主催 一般社団法人岐阜県建設業協会
- 7 参加者の意見 <インターンシップについて>
 ・1日や2日経験しただけでは業務を理解するのは難しいと思うので、長期の現場などの方が様々な経験が積めることから有効であると思う。
 ・2週間実施していただき、社員さんのやっている仕事をそのまま手伝っていたので、入社後の仕事がある程度理解できた。
 ・インターンシップの受け入れ企業にそのまま入社した方に入職理由を聞くと、会社の雰囲気がよかったとの意見であった。会社をアピールする機会との認識が必要。
 <入社後に大変だと感じたことについて>
 ・OBサポーターからは、専門用語が理解できなかったことや、コミュニケーション能力が不足していることから、自分の思いを上手く伝えることが難しかったとの意見あり。
 ・企業側からは、従来の教育方法では今は通用しないことを認識する必要があるのではないかという意見。コロナ過ではあるがグループワークはとても重要であり、新たなコミュニケーションの形を構築する必要性がある。

■「働き方改革」の概要を押さえ、今後必要となる時間外労働対策について勉強しました



建設業が今後労働時間を削減するために必要となる労働時間対策をはじめとしたハード面の対応と、実践に不可欠な従業員の「意識チェンジ」などソフト面の対応と両面から中心に学びました。

- 1 日時 令和4年12月5日(月) 13:30～15:30
- 2 場所 サンレイラ岐阜 3F 大ホール
(岐阜市藪田東1-2-3)
- 3 対象者 会員企業の経営者、経営幹部、営業・事務担当の方々
- 4 参加者 30名
- 5 内容
- 1 働き方改革の概要
 - 2 働き方改革のための労務管理【ハード面】
 - 3 働き方改革のための労務管理【ソフト面】
 - 4 企業事例から学ぶ
- 講師:(株)建設経営サービス提携講師
(株)シエーナ 代表取締役 吉川 直子 氏
- 6 主催 (一社)岐阜県建設業協会
- 7 CPD CPDS:2ユニット